

第3回つくば市産業戦略会議要旨及び今後の対応

■議事に関する議論及び対応

【補助金交付事業者の後追い調査について】

委員発言要旨	つくば市創業支援融資信用保証料補助金の交付を受けた事業者は、継続して事業を続けているのか。
事務局回答要旨	今後、本補助金を利用した事業者の後追いをしていきたい。
今後の対応	補助金交付から5年程度、毎年補助金交付事業者については調査を行うこととする。

【地元物産品の認知度向上について】

委員発言要旨	「既存事業者の製品サービスなどの品質認知度を向上する」について、インバウンドへ向けたアピールやふるさと納税への出品は考えているか。
事務局発言要旨	ふるさと納税に関しては、つくばコレクションの詰め合わせセットを出している。物産品を外国人に知ってもらうことは必要だと思うので、市報で紹介するなどしていきたい。

【農業分野における連携について】

委員発言要旨	・「重点プロジェクト3」に関連して、農業分野では、例えば農研機構の持つ技術が地元企業と結びつくような機会はあるのか。市が情報発信をしていくとよいのではないか。
事務局発言要旨	農業政策課と連携しながらやっていきたい。委員のこの視点は農業政策課に伝える。

■次期計画に向けた提言や要望

※頂いた提言や時期計画に向けた提言や要望は、現在進めている第2次つくば市産業戦略策定懇話会に共有し、次期計画に反映させていく予定です。

【全体について】

委員発言要旨	<ul style="list-style-type: none"> ・計画は、幅広い方々にとって不公平感がないことが一番大切だと思う。事業者の規模、業種、地域、ジェンダー、新旧といったことにより、不公平があってはならない。 ・現行計画は創業者、あるいは引き継ぎ次期の事業者に対しての支援は手厚くなっていると思うが、その間の成長途中の事業者に対しての支援はもう少し強化してもいいと思う。
--------	---

	<p>・産業を盛り立てていくためには、働く人が住むにいい環境であることも重要である。つくばはその点、とても住みやすい、恵まれたまちなので、大いにそこをPRすればよい。</p>
--	---

【採用難について】

<p>委員発言要旨</p>	<p>もともと採用可能な人口が減っている中、中小企業の採用の困難さは切実である。この解決の方向性としては、①学生と中小事業者接点を増やすこと、②外国人の採用、の2パターンが考えられる。このため、市のほうで場づくりを考えてもらうといいと思う。これは、就職フェアよりも前の段階、大学1、2年生の段階で、東京じゃなくてもおもしろい企業があるんだ、ということを知ってもらう必要がある。</p>
---------------	--

【事業承継について】

<p>委員発言要旨</p>	<p>・事業承継の問題は難しく、無理にマッチングさせようとするのは無理がある。そうではなく、年上の経営者と年下の経営者が交流会できる場を提供するなどのかたちで地道に事業承継への貢献をしてほしい。</p> <p>・茨城県事業承継ネットワークに加盟しているため、マッチングというレベルではなく、もっと初期段階において、事業者には事業承継の必要性を認識してもらうところに市は注力してもらうといいと思う。後回しにしてしまっている事業者は多い。アンケートを毎年とるのはやめるとのことだが、地道にヒアリング等で事業者の現況を調査し、必要な事業者は、専門家や金融機関につないでもらうのがよいと思う。</p> <p>・大変難しい話なので、目標値を設定するようなことではないが、市がベンチャーと既存事業者のデータを把握することで、資産の一部承継するマッチングは可能となるかもしれない。</p>
---------------	---

【副業の支援について】

<p>委員発言要旨</p>	<p>最近増えてきている副業で創業する方への支援をしていかなければならない。働き方の変化に対して、支援の必要性を専門家として感じている。</p>
---------------	--

■その他

【市職員による情報発信について】

委員発言要旨	名刺の裏に特産品を入れる、特産品を手土産とする、などの方法によって、職員自体による発信をしていくといいと思う。
--------	---

【特産品のブランド化について】

委員発言要旨	<ul style="list-style-type: none"> ・行政に一定の特産品を推す強い意思がないとブランド化は難しい。 ・若い世代のほうが進める力があると思うので、交流会の農業バージョンのようなものがあるといいのではないか。
--------	---